

農村計画学特論 (2単位)

担当者氏名 中村貴彦

◆学習・教育目標

農業・農村がもつ多面的機能の根幹となる水と土とバイオマスといった農村資源に着目し、土地利用計画、水資源利用や水環境計画、有機性廃棄物などの未利用資源利用、生態系保全といった内容についてその理念や計画論について講義する。

◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

多面的機能 土地利用計画 バイオマス 水環境計画
 未利用資源 資源循環 水質

◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	土地利用計画 (第1~2週)	・農振法と都市計画法について修得。	教科書、参考書および配布する資料を熟読しておくこと 農村地域の振興は、農村のもつ多面的機能の発揮につながる。そのために必要となる地域資源利用、農村生態系、物質循環機能の維持、などの機能と計画論について理解してもらう。
2	農村の多面的機能 (第3~4週)	・農村のもつ自然生態系・国土保全機能について修得。	
3	都市と農村の交流 (第5週)	・観光農園、農村からの情報発信など農村地域の活性化について修得。	
4	農村の活性化 (第6~7週)		
5	集落排水 (第8~9週)	・集落排水、水質、水処理について、	
6	水環境保全機能 (第10週)	物理化学的視点から修得。	
7	物質循環系維持機能 (第11~12週)	・バイオマス利活用、循環型社会について熱力学的視点から修得。	
8	自然環境保全機能 (第13週)	・生態系保全対策について生態学的視点から修得。	
9	環境との調和への配慮 (第14~15週)		

◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名／著者／発行所 (発行年)
 農地環境工学／山路・塩沢／文永堂 (2008年)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所 (発行年)
 農村計画学／農業土木学会 (1992年)

◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

レポート 70%、ディスカッション 30%で評価する

◆その他受講上の注意事項

講義内容に関して質問がある場合は、該当する教員へメールで連絡すること (中村: ntaka@nodai.ac.jp, 駒村: koma@nodai.ac.jp)。